

議会だより

おおえ



2014.5.8

No. 131

今日から1年生・左沢小入学式

- 第1回定例会/平成26年度予算 ②
- 予算の使い道 ④
- 町長の施政方針/諸般の報告 ⑧
- 一般質問 (5人が町政を問う) ⑩

- 平成25年度一般会計補正予算 ⑮
- 第1回大江町議会臨時会 ⑰
- 西村山広域行政事務組合報告/定例会 ⑱
- 丸森町議会議員来町/私もひとこと ... ⑲

公民館の建設に着手

24億5,600万円

平成26年

第1回 定例会

「大江町が誕生して55年目の節目
となる新年度」に向けて

平成26年第1回定例会は、3月5日から14日までの10日間の会期で開催されました。

最初に町長から、新年度の町政運営に関する所信と主要施策の概要についての施政方針表明があり、その後、平成25年度補正予算、平成26年度予算、各種条例の制定及び改正、指定管理者の指定についてなど46議案、議員発議1件、諮問2件の49件について慎重な審議の結果、原案のとおり可決しました。

なお、請願2件のうち1件を採択し意見書を提出しました。

9会計総額

77億8,434万円

(前年度対比8.2%増)

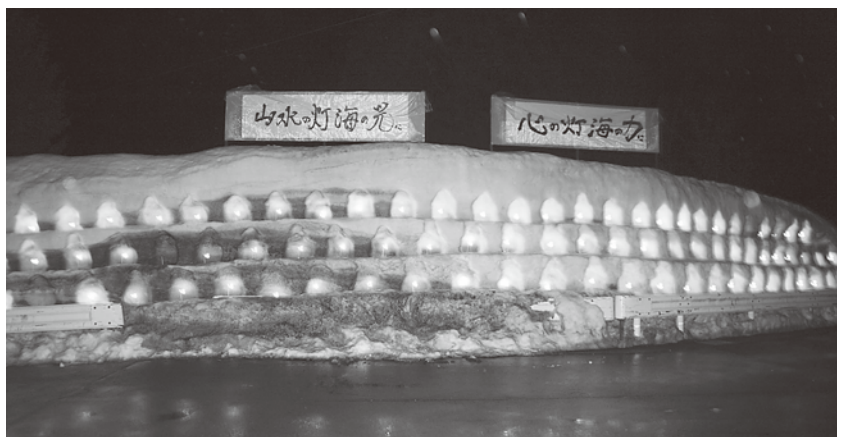
| 予 算 項 目 | 予 算 額 |
|------------------|--------------------|
| 1 一般会計 | 48億2,130万円 (9.3%増) |
| 2 特別会計 | 24億5,600万円 (4.7%増) |
| (1) 国民健康保険特別会計 | 9億4,250万円 (2.2%減) |
| (2) 後期高齢者医療特別会計 | 9,510万円 (6.2%減) |
| (3) 介護保険特別会計 | 10億2,060万円 (6.8%増) |
| (4) 宅地造成事業特別会計 | 9,550万円 (496.9%増) |
| (5) 簡易水道事業特別会計 | 1,020万円 (1.0%増) |
| (6) 公共下水道事業特別会計 | 2億4,900万円 (1.6%減) |
| (7) 農業集落排水事業特別会計 | 4,310万円 (8.9%減) |
| 3 水道事業会計 | |
| 収益的支出 | 2億6,360万円 (8.3%増) |
| 資本的支出 | 2億4,344万円 (23.8%増) |

歳入

今年度予算は48億2千130万円で、昨年度比4億1千130万円の増となりました。

これは、主に昨年の7・18豪雨災害の復旧事業に対する国庫支出金や県支出金が増加したためです。

一般会計予算



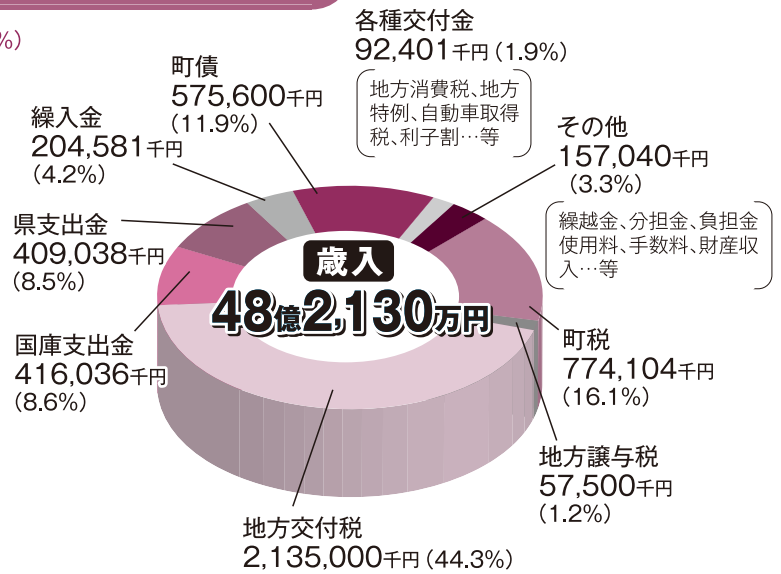
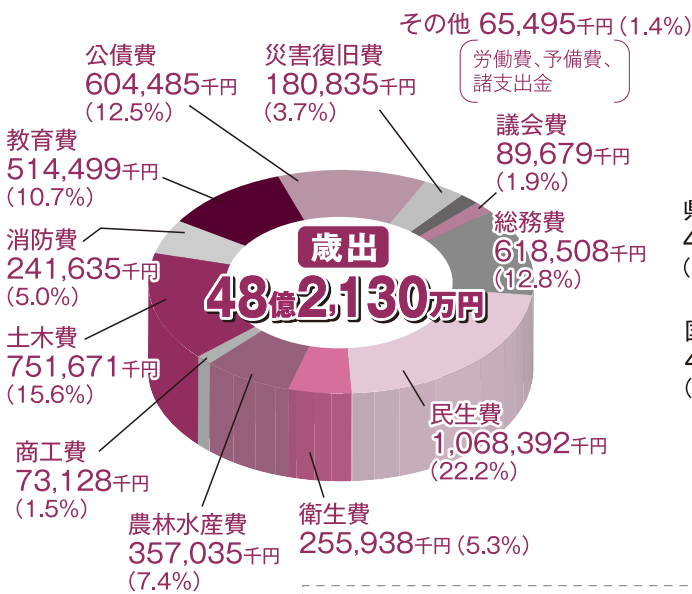
柳川温泉雪灯ろう

平成26年度スタート「新しい中央」

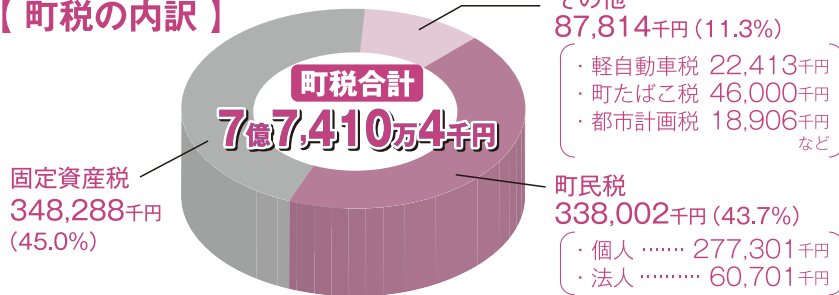
◆一般会計 **48億2,130万円**

◆特別会計

一般会計予算の内訳



【町税の内訳】



歳出

自前の収入の主な財源である町税は、前年比0・8%増の7億7千410万円となり、収入のうち最も大きな地方交付税は、昨年度と同額の21億3千500万円になりました。自主財源は27%、依存財源は73%です。

歳出を性質別に分け昨年と比べると、人件費などに関する消費的経費では8千928万円の増となり、建設事業などの投資的経費では、3億5千283万円の増となりました。これは、7・18豪雨災害関連の公共土木施設や農地、農業、林道等に対する復旧工事費用のためです。

主な事業では、旧七軒西小学校改修、新規就農者用住宅建設、地籍調査、道路新設改良（8路線）防炎行政無線調査設計業務委託、中学生海外派遣、中央公民館施設整備、土木施設災害復旧、農地・農業用施設災害復旧などです。

なお、公債費は6億448万円（元利金とも）です。

特集 予算の使い道

平成26年度予算特別委員会審査

平成26年度一般会計予算と特別会計予算審議は3日間の日程で開かれ、一般会計と7つの特別会計及び水道事業会計9件は原案の通り全会一致で可決されました。



土田予算特別委員会委員長

予算特別委員会の主な質疑

歳出

総務費

伊藤委員 車輛購入費780万円ほどの車両を購入するののか。

総務課長 現在のマイクロバスは平成10年に購入し、走行距離が10万キロ以上でありますので、新し

いマイクロバスに替えるものです。



更新される役場のマイクロバス

菊地委員 ふるさとまちづくり寄付金収納システム設定業務委託料32万円は。
政策推進課長 インターネットでのふるさと納税収納システムを構築するための委託料です。

結城委員 ふるさとまちづくり寄付謝礼3万円、お礼の品が一律3千円程度では少ないのではないのか。
また、当町への寄付額は、県内ではどのようなレベルにあるのか。
政策推進課長 お礼の品については検討します。
24年度を参考にしますと、寄付

金は7件・124万円で、県内35市町村の中で24位です。
1位は金山町で4千77万円です。

民生費

結城委員 緊急通報体制整備事業委託料235万円の内容は。

健康福祉課長 警備保障会社との委託契約で、センサーによる高齢者の安否確認ができる事業であり、50世帯分を見込んでいます。

布施委員 臨時福祉給付金2千875万円とは。

健康福祉課長 4月1日から消費税が8%に増加するに伴い、低所得者の負担が大きくなることから臨時的に措置するものです。

平成26年度の町民税非課税対象者が明確になり次第、7月頃から支給したい。

安食委員 子育て世帯臨時特例給付金860万円は何世帯に支給されるのか。

健康福祉課長 臨時福祉給付金と一体的に行われるもので、対象者が重複しないよう、子育て世帯への給付は非課税者を除いた児童手当対象者に給付されるものです。

結城委員 すすく出生祝金60万円の、一人当たり1万円の祝金としては少ないのでは。また、現金で渡すのか。

健康福祉課長 年間約60人の出生を見込んでの予算で、現金で渡します。また、要綱を検討中です。

宇津江委員 保育士処遇改善支援補助金186万円について、民間保育園と公立保育園の処遇に関して差があるのでは。

また、潜在保育士の活用は。
健康福祉課長 民間保育園の保育士についての処遇改善です。
潜在保育士の確保については県で主体的に取り組んでいます。



保育士による紙芝居

布施委員 臨時雇賃金3千512万円の内容は。

また、保育士全体の中で若い人が占める割合が少ないのでは。

健康福祉課長 町立さくら、わかば保育園の臨時勤務者に対する賃金です。

職員の構成は長い経過の中で構築されてきた。ここ数年で退職される方もおり、今後の課題とを考えます。

松田委員 老人福祉センター指定管理料300万円

老人福祉センター改修工事費1千260万円

シニアセンター周辺整備等工事費320万円

計1千880万円の予算を計上しているが、経営母体である公社が赤字経営であることから、長期的な展望に立ち、将来（2～3年）、閉鎖しなければならぬ所に投資するのはいかなるものか。

町長 眺望風呂のほか数箇所について傷みが激しく、安全が確保できない状況であります。

ここ10年位は残したいので改修したい。

指定管理料については、町民、

職員、議員の方々の総意をあげた考えのもと、利用度を高めることにより健全な経営になるよう検討する必要があります。



改修される眺望風呂

衛生費

安食委員 集団資源回収奨励報償

45万円について、子ども会主体で回収できない地区へも対象としているのか。

総務課長 子ども会以外の団体にも支出しています。

労働費

伊藤委員 労働金庫貸付金800万円

の内容は。

政策推進課長 町に住所を有している未組織労働者に対し、主に生

活費に充当する目的で利活用しています。

平成25年度は1月末時点で6件で総計16件、残高は1千97万円です。

菊地委員 雇用促進助成金100万円の実績と内容は。

政策推進課長 高校生を含めた町内の雇用確保と産業振興を図るために制度化したものです。

平成24年度までは新規学卒者に限り、事業所に助成をしていましたが、25年度からは既卒者も含めた正規雇用者に対し、事業所に助成しています。

平成25年度は2名に助成しており、1名10万円です。

農林水産業費

結城委員 新規就農者用住宅建設

工事費1千500万円
住宅の場所は、また、家賃は無料なのか。

農地や農業機械はどうするのか。
農林課長 場所は本郷地区を予定しており賃貸住宅です。

農地は、農業委員会を通じて借地等で進めています。
農業用機械については、高額な

機械もあり、町や国の補助を活用しての購入や、皆で使えるトラクターのような機械は機械バンクの創設も考えていきます。



初めてのじゃがいも作り

宇津江委員

新規就農者を受け入れる際の留意事項については。

また、空き家を提供してくださる方の家屋をリフォームし、入居していただくことは。

農林課長 短期研修の中で、新規就農者の人柄や健康面を見定め受け入れております。

空き家のリフォームに関し県からの補助などを念頭に、将来的に空き家の制度を活用していきたい。

安食委員 大江町型薪ストーブ等
開発補助金50万円とは。

農林課長 農業用ビニールハウス
の中で、加温できる薪ストーブを
開発するものです。

宇津江委員 薪ストーブの開発は
燃料費が高くなっている現状の中、
再生可能エネルギー開発の面から
も取り組んでは。

農林課長 地球温暖化傾向の中、
取り組んでいきます。

商工費

菊地委員 1、商工業者ホームペ
ージ作成支援事業補助金100万円

2、中心商店街販売促進事業補
助金100万円

3、産業立地促進資金貸付金50
万円の内容は。

政策推進課長 1、販路拡大のた
めホームページを開発する町内の
商工業者に対しての補助金で、負
担割合は町と事業主が半々です。

2、プレミアム商品券に代わる
ものとして、その場で商品券とし
て利用できるスピードクジ事業に
対する補助金です。

3、町内企業の規模拡大、新規
立地事業、設備投資をする際の貸

付金です。

古城委員 除雪機購入事業補助金
150万円について、数量は何台か。
地域産業創造事業補助金200万円
とは。

政策推進課長 30台を予定してお
り、1台あたり5万円の補助金で、
町内の商店で購入していただきま
す。

地域の新しい産業に取り組む団
体、個人に対し補助されるもので
す。

例として「十八才まんまの会」
などです。



地産地消の定食

伊藤委員 土砂排土等委託料150万
円の内容は。

政策推進課長 観光やな場の手前
に溜まっている土砂排土です。

古城委員 クラシックカーイベン
ト負担金30万円。

昨年はS L列車とうまいもの市
を同時に企画しているが、単独に
開催してはどうか。

政策推進課長 単独開催として7
月8日に予定しています。

展示台数も増やし、内町から横
町にかけても展示します。

また、元きらやか銀行大江支店
内で、町内のレトロ写真パネル展
を実施します。



昨年のイベント風景

土木費

宇津江委員 県道改良工事負担金
1千430万円

県道大江・西川線の今後の工事
予定を伺う。

建設水道課長 貫見く沢口間の工
事に、26年度から本格的に入りま
す。

貫見側から工事を開始し、橋梁
6箇所を敷設します。

安彦委員 1、雪から家を守る事
業補助金300万円

2、住宅建築奨励事業補助金50
万円

3、西山杉材利用促進事業費補
助金150万円を計上しているが、25
年度の実績は。

建設水道課長 1、件数は8件、
対象工事費830万円、補助金180万円
を交付。

2、件数は37件、対象工事費1
億600万円、補助金670万円を交付。

3、件数は3件、対象工事費510
万円、補助金96万円を交付してい
ます。

消防費

松田委員 防災拠点再生可能エネルギー等設置工事費5千126万円の内容を伺う。

総務課長 体育センター西側の駐輪場の屋根等に太陽光パネル144枚を設置します。

非常時に避難所となる体育館と中央公民館に電力を供給できるようにになります。

電気容量は30キロワットで、蓄電池は15キロワット／時です。



設置される駐輪場の屋根

古城委員 防災行政無線設計業務委託料600万円

今後の設置に向けた取り組みを

伺う。

総務課長 26年度は、無線電波の到達状況を調査する基本設計の段階であります。

27年度は具体的な設計をし、28年度には工事に着手したい。

教育費

松田委員 中央公民館解体工事費4千422万円

今後の見通しと教育文化課の移転先を伺う。

また、エレベーターの設置や町民に開放した調理室の設置について伺う。

教育文化課長 設計5社にプロポーザル方式設計の内容を示し、今年度中に1社に絞りたい。

解体工事は、町文化祭が終了した時点で、教育文化課の移転先は、元本郷西小学校と考えています。

エレベーターや調理室の設置は町民検討委員会の中でも意見をいただいております、実現に努力したいと考えています。

※プロポーザル方式

建築物の設計者を選定する際に、複数の者に目的物に対する提案をしてもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること。

伊藤委員 遺構数値化業務委託料175万円、調査研究委託料120万円の内容を伺う。

教育文化課長 楯山城史跡の千畳敷区画について発掘調査をするものです。

また、重要文化的景観に選定された建物24件のうち12件と、街並み全体を調査し、整備計画を文化庁に報告するための委託料です。

災害復旧費

宇津江委員 災害復旧工事費9千242万円

工事の概要について伺う。

建設水道課長 公共災害箇所10箇所についての復旧工事で、全63箇所中、26年度までに94%完了している。

神通峡、大頭森等の4箇所については27年度以降完了の予定です。

総括質疑

結城委員 職員の再任用について伺う。

総務課長 25年度は、県内でも制度が確立していない中、試験的に採用しました。

若い人の雇用の確保と、再任用制度を検討中であり、26年度中に、

国や社会の動きを見ながらベテラン職員の再任用を検討していきま

松田委員 職員給与削減について、町が提案した減額案否決による交付税の減額（ペナルティー）はあるのか。

総務課長 25年度中に、全国一律に交付税が減額された。

平成26年度の交付税試算では、行革努力面から2千800万円程度の減額が見込まれるが、国の制度がまだ決まっていない。

また、国から交付されるがんばる地域交付金においても、現時点では85万円程度の減額が見込まれている。

松田委員 朝日登山者の足の確保のため、以前実施していたタクシーの運行を再開してはどうか。

政策推進課長 観光の目玉として、朝日連峰、神通峡方面は大きな財源と考え、交通手段の確保について、タクシーの運行などを視野に入れ検討したい。

町長の施政方針

夢や希望に向かつて共に「行動」することを町づくりの基本理念として、5つの主要事項に取り組んでまいります。

1 早期の災害復旧と災害に強い町づくり

東日本大震災の教訓から、耐震性能が不足している中央公民館、橋、水道施設等の公共施設の耐震化や改修を進める。
また、万が一の災害に備え、情報伝達方法の確立と停電時の電源確保の充実を図る。

2 将来に夢や希望が持てる人を育てる

中学生までの医療費無料化等に加え出生祝い金制度を創設するほか、子ども・子育て支援事業計画を策定します。

また、国際化社会に対応した人材育成を目指し、アメリカモンタナ州への中学生海外派遣事業に取り組みます。

3 安定、堅実な暮らしを実現する

新たな住宅団地造成事業に着手するとともに、町営住宅の整備を進めていきます。

また、産業活性化のため、町道等の道路インフラ整備を実施します。

4 生業の振興対策

農林業は、高齢化と後継者不足という課題がある半面、都市部から農林業に魅力と関心を持った人が増えてきています。

支援として、町産木材を利用した新規就農者用住宅を整備し、後継者確保、定住対策、木材利用という循環の輪を期待し、対策をしていきます。

また、6次産業化の取り組みについても支援していきます。

5 文化財の保護と交流人口増加への取り組み

重要文化的景観や史跡左沢楯山城跡は計画的に保存整備を進めていきます。

また、6月から全国展開される、山形デザインেশョンキャンペーンに合わせ、積極的な周知活動と受け入れ体制を図っていきます。

人事案件2件に同意

*副町長の選任



鈴木 廣志氏

*大江町教育委員会委員の任命



山家 貴代氏

人権擁護委員の推薦に同意



堀 永敏氏



庄司百合子氏

専決処分(一般会計補正予算第10号)

*原油高騰に伴う要援護世帯に対して福祉燃料費支給

該当する方に一戸当たり5千円を支援します。

*道路除排雪経費

1千287万円

諸般の報告(議会)

2月17日、山形市の自治会館において、「山形県町村議会議長会第65回定期総会」が行われました。総会では、平成25年度会務報告、平成26年度の事業計画と収支予算、会費等が審議され、すべての議案が原案どおり可決されました。

事業計画では、町村自治振興事業の充実強化に寄与するため、国、県に対する住民の要望を積極的に取り上げ要望活動を行う政務活動の強化等を決定。平成26年度収支予算では、総額4千268万円の予算案を可決。また、都市部では景気回復の兆しがみられるもの、地方では経済・雇用問題を抱え地域活力が減退しており、依然として厳しい状況にある中で、農山漁村の活性化、災害に強い安全なまちづくり、介護等総合的な地域福祉政策等の推進などが強く求められることから、議会の活性化を図り、清新で活発な議会活動を通じて、町村財政の強化、分権型社会の実現、農林水産・商工業振興対策の強化など9項目の事業について、地方自治の確立に向けた特別決議を採択しました。

町長からの

行政報告

1. 大江町総合計画短期行動計画の策定について

22年度から4年間短期行動計画にもとづき、各種事業を実施してきました。このたび、平成26年度からの4年間における施策について計画を策定しました。「ここに暮らす喜びを、みんなが実感できる町」の実現にまい進していきます。

2. 西村山西部地区土地開発公社の解散について

公社は解散の手続きを進め、平成25年9月10日に県知事の認可を受けて解散しました。その後官報に解散告示を行い清算の手続きを進めてきました。公社の残余財産1千532万6千466円は、設立団体である西川町、朝日町、大江町に譲渡され、県知事あて清算終了の報告を行い、一連の手続きが終了しました。

3. 普通財産（旧三郷小学校）の財産の処分について

旧三郷小学校につきましては、みなさまのご協力を得ながら、特別支援学校の分校としての設置に向け取り組んできました。その結果、楯岡特別支援学校の分校として中学位、高等部を整備する方向性が示され、27年度からの開校に向けて準備がなされているようです。

これまで県と協議を進めてきた結果、建物については無償譲渡、用地については無償貸与することで合意しました。平成26年4月1日からとして手続きを進めます。

4. 大江町鳥獣被害防止計画の策定について

このたび大江町鳥獣被害防止対策協議会の臨時総会を開催し、大江町鳥獣被害防止計画を策定しました。計画には、対象鳥獣の種類や被害の現状と傾向、被害の具体的な軽減目標や今後の取り組み方針、捕獲の計画が記載されています。今後はこの計画に基づき、有害鳥獣対策を実施します。

3月定例会追加議案

議第48号

平成25年度町道藤田堂屋敷線道路改良工事請負契約の一部変更

| | |
|-----|---------|
| 変更前 | 4千326万円 |
| 変更後 | 5千299万円 |

変更理由

町道藤田堂屋敷線と国道287号のT字路交差点の信号機の移設工事の追加と、軟弱な地盤を強化する費用、除排雪代等973万円の追加。

請願・発議

請願1号

件名 労働者保護ルール改悪反対を求める請願について

請願者

連合山形北西村山地域協議会

請願2号

件名 特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める意見書の提出に関する件

請願者

西村山地区平和運動推進

労働組合センター議長

請願の内容を、大江町議会総務文教常任委員会で審議した結果、特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める意見書提出に関する件は不採択。

労働者保護ルール改悪反対を求める請願を採択しました。

発議第1号

労働者保護を求める意見書の提出

大江町議会は意見書を衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、厚生労働大臣、経済再生担当大臣、内閣府特命担当大臣（規制改革）に、大江町議会議長名で提出しました。



広くなる町道藤田堂屋敷線



結城 岩太郎 議員

福祉行政「認知症」予防対策を伺う。

町長

多様な連携による見守り体制の強化を図ります。

質問 大江町の認知症状該当者については。

町長 認知症状該当者は、介護保険制度の要介護認定調査の際の「認知症高齢者の日常生活自立度」により把握しています。

平成25年4月には、高齢者数2千891人に対し認知症状該当者は329人であり、11・4%の割合となっています。一方、介護認定を受けていない方の把握は、本人や家族等からの申し出がない限り困難な状況です。

質問 認知症対策の現状と課題については。

町長 認知症の早期発見・早期治療が有効であることから、該当者を迅速に把握し、専門の医療機関の受診につなげるため、地域からの情報の他、積極的な高齢者訪問事業を行うなど、関係団体との連携の中で情報収集に努めています。

また、専門医療機関への情報提



認知症サポーター養成講座

供や早期の受診を案内しており、認知症の正しい理解を図る観点から「認知症サポーター養成講座」などを開催しています。

質問 一人暮らし高齢者等の状況把握については。

町長 家庭訪問事業を実施しており、平成24年度には、延べ249人に対し、困り事や、心身の健康状況などの把握をしています。

その際には必要に応じ介護サービス等を紹介したりしており、今後も高齢者世帯の家庭訪問を継続し充実していきます。

また、民間事業者の活用など、多様な連携による見守り体制の強化を図ります。

質問 本町では看護師さん一人で家庭訪問を実施しているが、白鷹町のように、臨床心理士さんなどの二人1組体制で訪問してはどうか伺う。

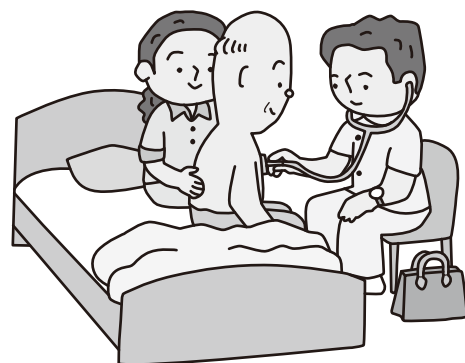
町長 看護師一人での訪問は過酷であり無理が生ずる。白鷹町の取り組みを参考に対応していきたい。

質問 緊急通報装置事業として、センサーによる新しい機器も予算に入っているということですが、孤独死を防止するために、多くの高齢者宅に普及できるようにしてはどうか。

町長 民間の警備保障会社と契約し、緊急通報装置を整備するた



介護教室



めの予算措置に取り組む。

質問 平成24年度社会保障と税の一体改革の中で、子ども、子育て関連三法が成立し、自治体は今後支援策を実施するにあたり「子ども、子育て支援事業計画」を作る必要があるが、町の考え方は。

町長 子ども、子育て支援計画は、平成27年から31年の5年間で、平成26年度中に作成。平成25年11月、12月に、子ども、子育てニーズ調査を行い81%・458名の回答があった。平成26年秋頃までに素案を作ります。

質問 この計画、立案には保育所の事業者、利用者など現場の声を反映させる必要がある、「地方版子ども会議」の設置が義務づけられていることについては。

町長 平成25年9月に、14名の委員からなる子ども、子育て会議を設置していて、平成26年度も複数回の会議を予定しています。

質問 多様な保育環境ニーズに

対応するため効率的、効果的な施設運営が求められているが、本町の今後の施設形態のあり方、考え方は。

町長 現実的に、子どもの人数に対して保育施設が多い。保育の質を高くするため、2つある町立保育園を1つにするとか、指定管理にするか、認定子ども園にするか、子どもが主役なので私立、町立の職員の話も含め



注目される保育行政

て検討していきます。

質問 保育園を、朝日町では地元法人が、河北町では指定管理者が運営しているが、本町でも2つの保育園を統合すべきでは。

町長 保護者のニーズにそって、ここ2年間をかけて、方向性を示したい。

左沢駅前町の有地活用は。

町長 検討委員会の結果を踏まえ26年度中に方向性を出したい。

質問 「大江町に住んでいて本当によかった」と言ってもらえる町づくりの一步前進のために、平成22年民間所有者から譲り受け、翌年には左沢駅前整備町民検討会議が立ち上げられ、24年10月まで延べ8回、視察研修も含めた検討会議がなされました。アンケート調査なども行われ、いろいろな角度からの課題を総括して報告されております。

町長はこれまで「社会情勢の変化によりその内容、優先順位を考慮しながら」と駅前町有地の利用を先延ばしにしてきまし

たが、新しい年度において利用方法を示す時と思いますが考え方は。

町長 検討委員会の結果を十分に踏まえると同時に、利益が出るような形の施設を作りたい。26年度中に方向性を出したい。

質問 デマンドタクシーを利用する人が、帰る時間まで待てる場所を作ることと、左沢線をどう生かすかも考えて駅前施設を作ってほしい。

町長 できるだけ利益を上げて、定住に結びつく、商業施設のよくなるものを作りたい。待ち時間、お祭り等の催し物等も考えていきます。



方向性が示される駅前町有地



布施 正昭 議員

大江町の保育行政は。

町長 保護者のニーズにそって方向性を示したい。



宇津江 雅人 議員

旧きらやか銀行大江支店建物の活用を伺う。

町長 商店街の活性化も視野に入れ活用を検討していく。

質問 旧きらやか銀行大江支店の建物と土地が、きらやか銀行から平成25年12月2日、町に寄贈の目録が渡され譲渡されました。今後、この建物の活用と維持管理に関しては各分野から様々な意見を取り入れ、活用について検討していかなければなりません。

第一に、重要文化的景観の重要な建築物の構成要素に明記されていないので、追加申請する必要があると考えます。

中央商店街の今日の状況は客足が少なく、残念ながら往時の盛況はどこに行ったのかと思わざるを得ません。

しかし、私は昔からの商店街の老舗の店は、町民の生活必需品がカバーされており、町内全域にわたり連綿と町民の生活を支えてきた宝の店と言ってもいいと思います。

建物の活用については時々、町内の高齢者の方々や雛祭り観光

客や文化的景観の町歩きの見学の方から「ちよっとお茶を飲み休憩する場所が欲しい」との意見をいただいている状況です。例え「生き生きサロン大江」とかの看板を立て、さらに町観光物産本部が常駐し、お茶やコーヒーを飲んでいただき満足していただけたら良いのではないかと考えますが、所見を伺います。

町長 建物については、文化庁に指定の申請をしている。

行政と商店街の意見を交換し、指定管理制度も視野に入れ、活用を検討します。



活用が問われる元銀行建物

質問 JR東日本と連携を強化し、まち歩きを含めたきめ細かな観光事業の実施については。

町長 JR東日本と連携を強化し、左沢まち歩きをメインに考えることが大事であります。

学校、家庭、地域の協力でいじめ問題の解決を教育長

未然防止の取組みを行い安心して学校に通えることを最優先に考え対応していく。

質問 今年1月7日、天童市立中学1年の女子生徒（12歳）が山形新幹線にはねられ、自殺とみられる痛ましい死亡事故がありました。

この問題を受けて、県教育委員会では2月中旬に、全公立校の教職員と保護者にいじめの早期発見を目的としたチェックリストを配布することを決めております。

そのほか、全公立学校へ配布する「いじめ対応の留意点」をまとめた資料もチェックリストとともに、2月17日に全公立学校の校長に通知されることとです。今後の町としての実施計画や対応について伺います。

あの願いであり、学校だけでなく行政、家庭、地域がそれぞれ協力しいじめが起らない、たとえ起こっても早期に解決する、そんな環境を作っていくかなければならないと考えます。

そこで、1学校・行政のいじめ対策の取り組み、2保護者・家族の皆さんへのお願い、3地域の皆さんへのお願いの3件の取り組みについて伺います。

教育長 定期的なアンケート調査の実施と、教師のアンテナを高くして子どもの状況を把握している。

保護者・家族の皆さんとは共通の思いのもとで協力をお願いしています。

また、地域の活動に積極的に参加することが大事で、参加を呼びかけていただいている。





菊地 勝秀 議員

**町づくりは行政のプロとして
認識の共有が最初ではないか。**
職員は、町そのものだと努力して
いたきたい。

質問 民間では、プロとしてお客様に、そして社会に役立つことで生活の糧を得ております。町長も役場の職員も社会に、地域に行政のプロとして役に立って生活の糧を得ていると思えますが、町長の考えは。また、大きな意味で地産地消が繰り返されることで町民とのコミュニケーションが図られ、それによってふれ合いがあり、素朴で思いが通じ合う田舎町、持続可能な心のサービスが町づくりの第一歩だと思えますが。

町長 長い伝統の中で培われた意識を変えることのむずかしさを私も痛感しているが、長い伝統で培われたその中にも結構いいものがあるし、ダメだなと思うこともある。新しいことはちよつと抵抗があり、変わったことは「おや、だめだな」と思うことがあります。意外に真実が含まれていることがある。自分を勘定に入れないで、行く先、目的、こうありたいという姿が同じ姿であれば、ある意味

では様々なアドバイスやご批判も素直に受け入れることができますし、その辺は日ごろのコミュニケーションが大切であると思えます。

質問 地域の魅力見つけ隊として、職員は行政のプロとして牽引しリードすることが大事であり、それが町づくりの第一歩だと思えますが。

町長 職員に一番こうしてほしい、希望しているし、お願いしたいことは、自己完結型の責任を持っていただきたいということ。職員1人1人が自分は町そのものだという観点に立って努力を重ねていただきたいと思っています。

質問 新しい住宅団地の計画を伺う。

町長 政策推進課、建設水道課、農林課が連携をしながら進めている。藤田地区の山交跡地に20区画・90坪程度とし、地主さんと交渉しております。それから立て続けに、そんなに大きな団地ではないが、別なところにも、郊外のセカンドハウスのなものも含めて検討しております。



新住宅団地予定地

**観光は公益的に発信
するべきではないか。**

町長 朝日町、西川町との連携を
具体的なものにしてみたい。

質問 昨年の7・18の豪雨災害以来神通峡が閉鎖になり、七軒地区に、柳川温泉に人が来ない「さみしい」の声が聞こえます。地域活性化に直結する観光交流人口を増やすことが急務だと思えます。最初に、観光が可能な町づくりとはどのようなものか伺う。

町長 この町にどういう趣旨で訪ねてくるのか、歴史的なもの、文化、食事、自然、温泉、最終的にはどんな人がいるのか、あの人と出会った、あの人もう一度会いたい、あの景色をもう一度見て

みたい、あの食べ物をもう一度食べてみたいというようなことではないか。生産的な出会いを私どもがどう作り上げていくことができるか、この町に来ての出会いが生きる勇気を与えられる「もの・人・心」の関係がなければならぬ。

質問 観光についての質問と同じ提案を朝日町、大江町、西川町で3月の定例議会でも同時に行っております。町単独ではなく、観光や交流についてはお互いに応援と協力をするのが大切だと思えます。朝日町の自然観、空気神社から大規模林道までの道路整備を応援すること、西川町の月山自然観光をネットで発信すること、我が町の観光スポットを朝日、西川町でもPRすることなどは普通に考えられるが。

町長 朝日、大江、西川町が協力する関係をどういう手段で始めるか、近々に集まる機会がありますので話を出して、具体的な形にしてみたいということをお約束いたします。また、町民一人一人が自分の持ち駒を出していただいてその持ち駒がぶつかり合うところに観光は成り立っていると思う。自分の持ち駒を出さないと高みに立って、いいところだけ持っていくとするようでは成り立たない。



土田 勵一 議員

**東地区公民館ホール及び、
歴史民俗資料館での宴席中止を
教育長**

利用者の意識改革を図り、中央公民館利用を誘導していきたい。

質問

ふれあい会館は文化会館として建設されたはずですが、大ホールは、いつの間にか宴会ホール化してしまいました。宴会は床も汚れますし、一般的な考え方からいっても、いかがなものかと思えます。

教育長

東地区公民館、歴史民俗資料館での宴席を伴う会合は禁止にしたいが、これまでの経緯も尊重しなければならぬ。東地区公民館は町中心部にあり非常に利便性の高い交流施設でもあるので、中央公民館の改築を契機に宴席を伴う会合を禁止にすることには出来ないが、宴席を伴う場合は、中央公民館を利用していただくよう理解を求めながら利用者の意識改革を図り、将来的には、ご提案いただいた形に近づけられるよう趣旨の周知徹底に向けて努力していきたいと思えます。中央公民館改築に關しては、町民の要望を組み入れた形で施設整備をしていききたいと思えます。

中央公民館大ホールは2階にあり、運搬用エレベーターはなく、ビールや料理を運ぶのにも不便なことから、やむを得ず東地区公民館ホールでの宴会を許可したものであると思つています。歴史民俗資料館についても同様で、行政視察や来賓による食事会等は仕方ないと思つていますが、補助事業で整備したからと言って、歴史民俗資料館での宴会は不適切だと思つてます。今後新築される中央公民館のホールを安価で使いやすく、150人利用の1階とし、床についても工夫する計画ならば、東地区公民館ホールと歴史民俗資料館は、特別な事情がない限り、宴会は全て禁止すべきではないかと思つてます。



秋に解体予定の中央公民館

条例の制定・改正

制定2件、改正18件が全会一致により可決されました。

新たに制定された条例

| | 条 例 |
|------|---------------------------------|
| 議第6号 | 大江町老人福祉センター柏陵荘の設置及び管理に関する条例 |
| 議第7号 | 大江町美郷地区コミュニティーセンターの設置及び管理に関する条例 |

条例の一部改正

| | |
|-------|---------------------------------|
| 議第8号 | 大江町特別職に属する者の給与に関する条例 |
| 議第9号 | 大江町教育長の勤務条件に関する条例 |
| 議第10号 | 大江町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例 |
| 議第11号 | 大江町ふるさとまちづくり寄付条例 |
| 議第12号 | 大江町障害程度区分判定審査会の委員の定数等を定める条例 |
| 議第13号 | 大江町農業集落排水事業分担金徴収条例 |
| 議第14号 | 大江町社会教育条例 |
| 議第15号 | 大江町立学校の設置等に関する条例 |
| 議第16号 | 大江町社会体育施設の設置、管理及び使用に関する条例 |
| 議第17号 | 大江町交流ステーションの設置及び管理に関する条例 |
| 議第18号 | 大江町小倉交流館の設置及び管理に関する条例 |
| 議第19号 | 大江町都市公園条例 |
| 議第20号 | 大江町水道給水条例 |
| 議第21号 | 大江町下水道条例 |
| 議第22号 | 大江町立公民館等設置及び管理に関する条例 |
| 議第23号 | 大江町町民ふれあい会館の設置及び管理に関する条例 |
| 議第24号 | 大江町立歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例 |
| 議第25号 | 大江町健康増進センター設置及び管理に関する条例 |

早期に災害復旧に取り組む

平成25年度

一般会計補正予算

一般会計

既定の歳入歳出予算の総額に1億6千670万円を追加し、補正後の歳入歳出総額が53億9千490万円となりました。

◆主な歳出◆

総務費

3千104万円増額です。町有施設整備基金（追加）3千154万円、広域行政事務組合事務費負担金（追加）127万円、「やる気↓元気」活動支援補助金（減額）70万円、庁舎改修工事費（減額）136万円。

民生費

545万円の減額です。民間立保育園運営委託料、民間立保育園特別保育事業委託料が増額になり、広域行政事務組合老人ホーム負担金（明鏡荘）、子育て支援医療費などが減額になりました。

衛生費

477万円の減額です。広域行政事務組合クリーンセンター、斉場負担金、雇用促進助成金等が減額になりました。

農林水産業費

1千256万円減額です。青年就農給付金、やまがた地鶏振興事業補助金、林道基盤等整備事業費補助金等が減額になりました。

土木費

381万円の増額です。光熱費、町営住宅建設工事費（E・F棟駐車場）等が増額になりました。

教育費

351万円の減額です。放課後子ども教室報償、スポーツ芸術文化等各種大会派遣補助金、人夫賃（楯山城発掘調査が豪雨災害のため中止となったため）、幼稚園子育て支援事業補助金等が減額になりました。

災害復旧費

1億377万円の増額です。公共土木施設災害復旧費、7・18豪雨災害34か所分として。



早期の災害復旧を！

平成25年度大江町介護保険特別会計補正予算

1千703万円を追加し、補正後の予算は9億9千170万円となりました。

平成25年度大江町公共下水道事業特別会計補正予算

1千640万円追加し、2億6千900万円となりました。

平成25年度大江町農業集落排水事業特別会計補正予算

57万円を減額し、5千24万円となりました。

平成25年度大江町水道事業会計補正予算

収益的収入は584万円の減額で2億4千85万円となり、収益的支出は584万円の減額になりました。資本的収入は1千270万円の減額で1億1千679万円になり、資本的支出は1千314万円の減額で1億8千352万円になりました。

平成25年度大江町後期高齢者医療特別会計補正予算

210万円を減額し、補正後の予算は1億127万円となりました。

平成25年度大江町国民健康保険特別会計補正予算

5千44万円を減額し、補正後の予算は9億2千283万円となりました。

繰越明許費

農業費

○町単独改良事業
らふらんす大江北側の土砂崩れ復旧工事
359万円

道路橋梁費

○道路改良事業
町道藤田堂屋敷線、柏陵グラ
ンド線、諏訪堂連絡線、左南西
原線の工事費
8千834万円

社会教育費

○左沢楯山城跡保存整備事業
左沢楯山城跡復旧工事費
4千232万円



左沢楯山城跡復旧工事

公共土木施設災害復旧費

○土木施設災害復旧事業
豪雨災害62件、雪崩被害1件、
合計63件の災害箇所である。
25年12月に18件発注し、12件
は年度内完成予定、6件は4月
末完成予定である。
残り31件は早期完成を目指し
本補正の計上に至った。
現在、施行中の単独災害1件
(貫見く中ノ畑線) 238万円を含
む。
1億6千596万円

農林水産業施設災害復旧費

○林道施設災害復旧事業
小柳線2箇所、長畑線、小
新・楯山線2箇所の工事費
3千270万円

住宅費

○町営西原住宅整備事業
E棟、F棟の駐車場整備費
4千711万円

下水道建設費

○公共下水道事業
小見地区内2箇所の工事費
1千800万円

指定管理者の指定

次の3件について指定管理者を
指定しました。

《議第26号》

- 1、公の施設の名称
大江町老人福祉センター柏陵荘
- 2、指定管理者の名称
(株) 大江町産業振興公社
代表取締役 鈴木 廣志
- 3、指定の期間
平成26年4月1日から平成28年
3月31日まで2年間

《議第27号》

- 1、公の施設の名称
大江町美郷地区コミュニティー
センター
- 2、指定管理者の名称
美郷区区长 佐竹 涉
- 3、指定の期間
平成26年4月1日から平成31年
3月31日まで5年間

《議第28号》

- 1、公の施設の名称
大江町小倉交流館
- 2、指定管理者の名称
小倉交流館管理運営協議会会長
東海林 長三郎
- 3、指定の期間
平成26年4月1日から平成31年
3月31日まで5年間

※美郷地区コミュニティーセンタ
ーは、平成26年4月13日大江町森
林整備促進・林業等再生事業の一
環として建設されました。



西山杉を活用したコミュニティーセンター

健康温泉館に

世界最大規模の

有機ELパネルを

設置

第1回大江町議会

臨時会

平成26年1月31日

平成26年1月31日、臨時議会を開催しました。

《議第1号》

平成25年度大江町健康温泉館

改修等工事請負契約の一部変更

請負金額 変更前（税込み）

2億3千652万円

変更後（税込み）

2億4千887万円

変更理由

県の有機ELのモデル推進事業を活用し、健康温泉館の木風呂の露天風呂の壁に縦2メートル、横9メートルの、屋外では世界最大規模の有機ELパネル（189枚）を設置するものです。

主な質問

結城議員 維持管理費用と耐用年数、故障した場合の対応は。

政策推進課長 電気料はわからないが、3〜10年間は持つのではないかと。故障した箇所のパネルを個々に交換します。

布施議員 有機ELパネルは、山形の民間企業で製作された物を使うが、県の補助金の額は。

政策推進課長 今回の設置費982万円の1/2（491万円）が県の補助金です。

宇津江議員 有機ELパネルの件はギネスブックへの申請も視野に入れ、マスメディア、パンフレット等の広報に力を入れて欲しい。山形デザインেশョンキャンペーンも重なることから、重要な文化的景観と合わせて広報してはどうか。

政策推進課長 有機ELパネルの絵柄が、旧最上橋にもなっているので、観光ガイドとも合わせて広報していきたい。

菊地議員 将来的に思い切った事業なので、どのような思いがあったのか聞きたい。

町長 通常の約3倍の補助金を県からもらい、県の新しい産業である有機ELを拡大し、年間50万円で10年間大江町を宣伝できる。石風呂側は今後行いたい。



長年親しみ利用されてきた木風呂の解体



木風呂に変わって新しくなった浴室

《議第2号》

平成25年度

一般会計補正予算（第9号）

既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ310万円を追加し、補正後の予算総額を歳入歳出それぞれ、52億1千390万円とする。

詳細説明

《歳入》

県支出金（県補助金）

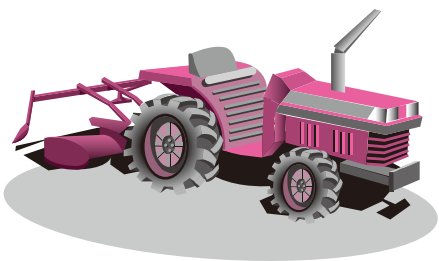
310万円

《歳出》

農林水産業費（農業費）

310万円

「人農地プラン」を作成している（担い手）荻野、梨木原地区の経営団体が購入する乗用田植え機、トラクターに対する補助金です。



西村山広域行政 事務組合報告

全員協議会

平成26年2月6日に寒河江市のフローラ寒河江にて行われ、平成26年度～28年度の事業計画概要が報告されました。

事業計画概要

- 養護老人ホーム施設整備事業
平成26年度トイレ改修事業工事 2千340万円
- 平成27年度暖房改修工事 5千190万円
- 消防施設整備事業
平成26年度 支援車車両更新 600万円
- 平成28年度 消防ポンプ車 3千830万円
- ・はしご付き消防ポンプ車配備事業
- 平成27年度 車庫整備 3千850万円
- 平成28年度 車購入 1億8千600万円
- クリーンセンター、斎場特別会計

し尿処理場施設整備事業

平成26年度 ごみ焼却処理施設排ガス分析計工事 4千155万円

平成27年度 下水道放流改造工事 5千502万円

最終処分場施設整備事業

・施設建設工事及び施工管理等

平成26年度 4億3千308万円

平成27年度 10億1千34万円

・大江町の分担金

平成26年度 2億4千560万円

平成27年度 2億4千433万円

平成28年度 2億4千989万円

となる予定です。

・養護老人ホーム明鏡荘の指定管理制度導入について。

平成25年6月に、指定管理者の公募を開始後に3つの社会福祉法人に公募説明会が行われたが、全部の社会福祉法人から引き受けできない旨の回答でした。不調の理由として、委託料、職員、施設内容等の問題があったようです。

今後、募集範囲を山形県内に広げるとともに、募集期間を平成26年度とし、指定期間を平成27年4月から平成32年3月31日まで繰り延べ、再募集することになりました。

平成26年

第1回定例会

平成26年3月27日、寒河江市役所議場にて、平成26年度西村山広域行政事務組合一般会計予算及び、クリーンセンター、斎場特別会計、交通災害共済特別会計予算が審議され可決しました。

平成26年度(一般会計)予算

(千円未満切捨て)

予算の総額は、歳入歳出それぞれ12億4千62万円となり、前年度当初予算と比較して2億5千139万円の減額となりました。歳入の主を占める分担金及び負担金は12億1千259万円で、大江町の分担金は1億3千892万円となります。

主な歳出

議会費

145万円

総務費

(管理経費、広域圏計画推進費) 5千652万円

民生費

(老人ホーム明鏡荘経費) 2億91万円

消防費

(消防、救急に係る業務経費) 9億4千390万円

公債費

(組合債の元利償還金など) 3千682万円

クリーンセンター、斎場特別会計

予算の総額は、歳入歳出それぞれ16億152万円で、前年度当初予算と比較して、3億7千234万円の増額。歳入では、分担金及び負担金8億9千426万円。使用料及び手数料2億1千344万円。国庫支出金1億4千186万円と組合債3億2千70万円は、最終処分場整備に計上。

主な歳出

総務費

(一般管理費及び財産管理費) 2億7千552万円

事業費

(し尿収集処理経費、ごみ処理経費、斎場運営経費、最終処分場整備費) 9億138万円

丸森町 (宮城県) 議会議員来町

3月28日(金)、宮城県最南端で福島県と隣接する丸森町議会議員9名が視察研修に訪れました。研修内容は、

- ・ 景観条例について。
- ・ 学校の活用について。
- ・ 議会改革について。

景観条例は、平成19年9月に策定された「おおえの景観マニユアル」を参考に、昨年3月に選定された重要な文化的景観も加えた町の景観の取組みの内容と、学校の利



役場大会議室での研修



楯山公園での視察

活用については、平成27年4月の運営開始を予定している旧七軒西小を利活用する施設の利用計画の概要を、担当課である政策推進課より説明を受けました。

議会改革については、先進している丸森町議会より宮城県内での議会活性化の事例を含めた説明を受け、これから本格的に活動する議会活性化検討特別委員会においても勉強になり、今後も双方の議会が発展していくために交流を深め、情報交換していくこととしました。その後、「おおえの景観マニユアル」の表紙にもなっている楯山公園から、最上川の眺めと山城跡を視察しました。

私もひびく



山川 正信
(蛍水区)

時代の流れとともに世の中では多様な価値観が生まれ、認められてきました。

今後はいったいどのような価値観が生まれてくるのでしょうか。

「農業」という仕事に就いて約18年、鎌倉市から大江町にきた私にとっては、ある意味で衝撃的な世界でした。

しかし、衝撃が大きければ大きいほど気がつくものは大きいものです。

その一つは「認める」ということです。認めれば許すことができます。

もう一つは、「知る、理解する」ということです。

それは、何が問題かを「知る」こと、そしてその一連の経緯を「理解する」ということです。例えば作物は口を利いてくれませんので、よく観察することになります。

とことん観察をしないと本当のところは見えてきません。

とことん観察とはどのくらいかと申しますと、それは頭の理解を超えた体験とか体感とかいうことになるでしょう。

それらを通して、あるいはその先にある何か開き直ったような感覚になって、はじめて物事の本質みたいなものがやっと思えてくるのではないかと思います。

人は日々、様々なことを体験し、選択しながら生きております。

今後、農業を通して何が見えて、どのような価値観に自分自身、気が付いていくのか楽しみです。

極的に話し合っているように思われました。

5、6年前になりましたが、町の合併問題に及んだ話がありました。

私が思うには、吉村県政の内に議員各位、皆様の活発な発議のもとでその問題に取り組んでくださいますことを期待しております。

議会に思う

佐竹 耕一 (月が丘)

今回の一般質問では、5名の議員が町の現状を踏まえ質問していただきました。

議会は、町の将来のあり方を積

祝

東海林長三郎氏の
旭日双光章受章を祝う

平成26年2月23日、大江町民ふれあい会館において祝賀会を行いました。

元副議長の東海林長三郎氏は、平成25年11月6日に山形市文翔館において、吉村美栄子山形県知事より旭日双光章の伝達を受けました。11月12日には、皇居にて行われた拝謁式に出席しました。



功績

東海林長三郎氏は、昭和9年大江町小清生まれ。昭和58年9月大江町議会議員に初当選以来、平成23年9月までの7期28年の永きにわたり在職し、特に平成15年9月からの2年間大江町議会副議長として議長を補佐し、議会の円滑な運営に尽力されました。

在職中、総務常任委員会委員長等を歴任し、社会福祉と教育文化の充実、地域産業の振興等に幅広く活躍され、高邁な政治信念をもつて教育、文化、産業振興の発展向上に貢献されました。

主な表彰

- 平成6年5月 村山地方町村議会議長会長表彰 (自治功勞 議員在職10年)
- 平成11年2月 全国町村議会議長会長表彰
- 平成15年9月 山形県町村議会議長会長表彰 (自治功勞 議員在職15年)
- 平成21年2月 大江町長表彰 (自治功勞 議員在職20年)
- 平成23年2月 山形県町村議会議長会長表彰 (自治功勞 議員在職23年)
- 平成24年1月 全国町村議会議長会長表彰 (自治功勞 議員在職25年)
- 平成24年1月 大江町長表彰 (町政発展功勞)

議会の動き (平成26年1月～3月)

- 1月 9日 広報常任委員会
- 16日 村山地方町村議会議長会臨時総会(河北町)
- 17日 全員協議会
- 27日 議会運営委員会
- 29日 広報常任委員会行政視察(宮城県丸森町)
- 31日 第1回臨時会
- 2月 31日 村山地方町村会との懇談会(河北町)
- 7日 大江町産業振興公社業務報告会
- 17日 山形県町村議会議長会定期総会(山形市自治会館)
- 21日 全員協議会
- 23日 東海林長三郎氏叙勲受章祝賀会(ふれあい会館)
- 26日 議会運営委員会
- 3月 5日 第1回定例会(14日まで)
- 14日 広報常任委員会
- 20日 広報常任委員会
- 26日 広報常任委員会

次回定例会は、6月開催予定です。ぜひ傍聴においでください。

また、大江町のホームページで、議会の様子をライブや録画で見ることができます。

編集後記

自然に触れて感動できることは最高に素晴らしいことだと思います。私達の町は四季を通じて美しく、五感に沁みわたります。春の土の香りがすること、夏の花火の音が聞こえること、秋の渓谷の彩が見えること、冬はあくまでも純な雪とふれ合うこと、そしてその折々の旬の味を楽しむこと…心から「生きている」と感じ、ここに暮らしていることに感謝をします。

大江町の26年度の予算が成立しました。議会も議員も責任を担っているわけで、「町を明るく良くしたい」という思いは、町長、職員、議員共通の認識であり、厳しい財政の中でいかに知恵のある町政運営をするか、町民の皆様方からお知恵を拝借し、理解していただくことによつて、まちづくりの一步が始まるのだと思います。

(記・菊地 勝秀)

発行責任者

◆議長 小野 祐一

【大江町議会広報常任委員会】

◆委員長 安食 幸治

◆副委員長 宇津江雅人

◆委員 菊地 勝秀

◆委員 古城 紀夫